※令和３年度以前入学生用

学校番号	1017

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「こころとからだの理解」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

健康のために気をつかっていること、実行していることはありますか？
この授業では自分自身の生活習慣をふりかえり、健康について考えるきっかけになるような授業を展開します。健康とは「からだ」だけでなく、「こころ」が関連していることを学び、こころとからだに関する基礎的な知識や技術を身につけます。また、視聴覚教材や見学を通して医療・福祉現場への理解を深めていきます。また、認知症ついても学習し、適切なかかわり方を学びます。

2　学習の到達目標

・自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得させ、実践で適切に活用できる能力を育てる。
・こころのしくみや、健康をどのようにとらえるべきかを考える力を身に付ける。
・基本的なからだのしくみについて理解する。
・認知症について正しく理解し、適切なかかわり方を身につける。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	基本的なこころのしくみについて理解する。排せつを安全、安楽に支援するための心身の構造をし、排せつの障がいが身体に及ぼす影響について、その予防方法について実践的な態度を身に付けている。	高齢者に多い症状とその特徴について理解し、健康をどのようにとらえるべきかを考え、自分の言葉で表現する創造的な能力を身に付けている。	要介護者の心身を的確に観察し、アセスメントすることの必要性を理解し、そのために必要な知識や技術を適切に活用している。	人間のこころとは何か、人間の欲求や尊厳と関連させながら考え、人間がどう生命を維持し、機能のバランスをとりながら生きているのかを理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 定期考査等	ノートやワークシートの記述 定期考査等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	こころのしくみの理解	・私たちの生活と健康 ・江戸時代の人の健康意と現代人の健康意識 ・平均寿命と健康寿命 ・健康とは ・加齢と健康 ・人間の欲求の基本的理解 ・人間の基本的欲求とは ・生理的欲求 ・心理的欲求 ・成就の欲求 ・成立の欲求 ・人間の社会的欲求とは ・友だちへの欲求 ・愛情を求める欲求 ・承認への欲求 ・マズローの欲求段階説 ・欠乏欲求と成長欲求	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a：こころのしくみと健康における江戸時代中期の「養生訓」の中の健康法について関心をもち健康寿命とは何かを探究しようとしている。 b：こころのしくみ健康面における栄養状態、衛生状態の改善等個々の健康をもたらすものの要因について知識を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c：こころのしくみが「生活の質」を含むことを理解して、資料や情報を収集し、適切に活用している。 d：こころのしくみとは生きていくうえで最低限必要な欲求から高次の欲求まであり、社会福祉は自己実現を目指して援助することを目的としていることについて理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査
1	からだのしくみの理解	・恒常性とは ・生命維持のしくみ ・体温を一定に保つしくみ ・血糖値を一定に保つしくみ ・脳・神経系の理解 ・中枢神経と末梢神経 ・脳と脊髄 ・脳神経と脊髄神経 ・自律神経とは ・運動器系のしくみ ・骨の構造とはたらき ・関節と靭帯 ・関節の動き ・運動のしくみ ・からだの動きのメカニズム	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：からだのしくみや生命維持について関心をもち、恒常性とは何かを探究しようとしている。 b：からだのしくみは自律神経とホルモンの協調するはたらきを調べ、その過程や結果を適切に表現している。 c：からだのしくみにおける運動器系の基本的なしくみと、はたらきについて資料や情報を収集し、適切に活用している。 d：からだのしくみは生命を維持するためさまざまなしくみがあることを理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

※令和３年度以前入学生用

1 ・ 2	生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	・食事に関するこころとからだのしくみ ・食べることと生きること ・からだに必要な栄養素 ・水と食物繊維 ・食事と食欲 ・食べるためのプロセス ・おいしさが影響を受けるもの ・食欲不振とは ・口渇とは ・脱水とは ・誤嚥とは ・嚥下障害とは ・低血糖と高血糖 ・食事制限 ・人間にとって望ましい食事とは	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生活支援に必要な食事の意義を理解し、探究しようとしている。 b: 生活支援に必要な食事を摂取する際のからだの動きや、安全な食事の支援をするために必要なことを調べていき、その過程や結果を適切に表現している。 c: 生活支援では誤嚥を防ぐ姿勢について調べ、前屈すると咽頭と気管に角度がついて誤嚥しにくくなることについて資料や情報を収集し、適切に活用している。 d: 生活支援では食べ物の認識から嚥下までについて、先行期（認知期）～食道期（嚥下第３相）があり、食べ物が通過する３つのドアと３つの部屋があることを理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査
2	生活動作に関するこころとからだのしくみ	・排せつに関するこころとからだのしくみ ・排せつの意義 ・排尿・排便のしくみ ・腎臓および排尿に関連する部位とその機能 ・排せつ障害の種類とその症状 ・正常な排せつによってもたされること ・生理的効果 ・社会的効果	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生活動作には人間が生きていくうえでの排せつの意義を理解し、探究しようとしている。 b: 生活動作に安全な排泄の支援をするために必要なことを学び、その過程や結果を適切に表現している。 c: 生活動作に便秘・下痢・便失禁の原因や種類と特徴およびその対応について資料や情報を収集し、適切に活用している。 d: 生活動作と生活支援技術と関連させながら排せつする際のからだの動きを理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

※令和３年度以前入学生用

2・3	人間の成長と発達の基礎的理解	人間の発達と発達課題 ・自発達段階 ・主な心理学者の発達段階の特徴 ・フロイト ・ピアジェ ・エリクソン ・発達課題 ・発達課題を克服していくことの重要性 ・老年期の理解と日常生活 ・高齢者の心理 ・高齢者の心理を理解することの重要性 ・高齢者の身体的変化と心理 ・「老い」の自覚 ・高齢者の心理の変化 ・社会の中での役割 ・高齢者の幸せ ・人生設計をデザインし直す(リ・デザイン)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 人間の成長について、それぞれどの発達段階にあるか書き出し、発厚段階達成の意味を理解し、探究しようとしている。 b: 人間の成長には発達段階、発達課題、心理社会的危機があることを理解し、そのために必要なことを調べていき、各自の意見を出し合い、その過程や結果を適切に表現している。 c: 人間の成長の発達の心理的特徴について理解し、心理状態はさまざまな社会的要因によって受けていることを統計などのデータをみながら資料や情報を収集し、適切に活用している。 d: 人間の成長と発達の中で社会背景や経済的な不安から再就職を希望する高齢者が多いことについての現状を理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査
3	認知症の理解	・認知症の理解 ・認知症の疾患の原因となる疾患別頻度の理解 ・疾患別の症状と検査、治療と予防法 ・アルツハイマー型認知症 ・脳血管性認知症 ・レビー小体型認知症 ・前頭側頭(ピック病)型認知症 ・各疾患の特徴に応じた介護のあり方を考える	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○ 	a: 認知症の原因となる主な病気の症状、検査などの意味を理解し、探究しようとしている。 b: 認知症の４つの疾患の違いについて調べ、その過程や結果を適切に表現している。 c: 認知症の人の内的世界について資料や情報を収集し、適切に活用している。 d: 認知症直前に出来事を忘れる近時記憶障害など特徴的な症状について理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。